令和７年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	19 山梨県
市区町村名	
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型１	課題の類型２	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
19384昭和町	③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	放課後における児童の居場所づくりと家庭学習の習慣づくりが学校と地域における課題となっている。	居場所づくりについては、各種子ども教室・土曜学習塾を実施。家庭学習の習慣作りは土曜学習塾を実施。	『土曜学習塾』について、学校・ホームページ等を通じ対象となる方に届くよう周知する。	学校以外での居場所とともに、学習の機会が増える。	【登録（参加）者数】 土曜学習塾	73	人	90	54	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる	当事業には、教員OBの方々が多く携わってくれている。 持続可能な事業としていくためには、人員の確保が課題である。	町ホームページ
19384昭和町	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	放課後における児童の居場所づくりと家庭学習の習慣づくりが学校と地域における課題となっている。	居場所づくりについては、各種子ども教室・土曜学習塾を実施。家庭学習の習慣作りは土曜学習塾を実施。	『子ども教室』及びについて、学校・ホームページ等を通じ対象となる方に届くよう周知する。	学校以外での居場所とともに、体験・学習の機会が増える。	【登録（参加）者数】 放課後子ども教室	75	人	100	65	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる	今年度、参加者数が定員に達しなかった。 現状、年度当初に1回、学校へチラシを配り、参加者を募っているが、定員に満たない場合には、年度途中に追加募集を検討しても良いかもしれない。	町ホームページ
19384昭和町	①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	高齢化率19．4%、核家族、新規転入者の多い地域である。学校教育への理解や支援はあるが、学校や行政にまかせ、自ら関わる意識が乏しい地域でもある。	コミュニティ・スクールとして、域人材招請を行ってきた。しかし、目標の共有や地域ぐるみで子どもを育てる意識は十分であるとは言えない	・学校は、社会に開かれた教育課程の編成と実施に取り組む。 ・実施にあたっては、目標の共有を図りながらより多くの地域の人的・物的資源を活用する。	・地域社会との連係・協働により、よりよい社会を造るという目標に迫る。 ・地域や保護者と目指すところを共有し、よりよい社会を造るという目標を共有する。	・地域人材の学校支援ボランティアの新規協力者数	5	人	20	10	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる	・ボランティア人数50名 ・指導に当たり目標等の共通理解が行われつつある。 ・教職員の負担軽減、多忙化に対する人的な支援が重要。	町ホームページ

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。